



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会
 会長 中村孝也
 仙台市青葉区錦町1-3-9
 (市役所錦町庁舎3F)
 電話 022-224-2581
 FAX 022-302-3406

公益社団法人仙台ユネスコ協会のビジョン

総務・企画委員会 松坂 宏造

公益社団法人仙台ユネスコ協会は昨年、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の民間運動の発祥地である仙台で、民間ユネスコ運動70周年を記念し、国内外から1,800名を超える方々が参加する中、「発祥の地、仙台から世界へUNESCO憲章の理念を未来へ」のテーマを掲げ、2017年第73回日本ユネスコ運動全国大会in仙台が開催されました。

この大会を通して多くの市民、県民に仙台ユネスコ協会の歴史を知っていただく良い機会になったのではないかと思います。

今後、民間ユネスコ運動を今まで以上に発展させていく為、私たちが一致団結して当協会の将来を考えていく事が大切と考えます。その構想として4本の柱を掲げます。



1本目—2016年5月から仙台市役所錦町庁舎に事務所を移転し、現在活動しておりますが2ヶ年以内に新たな活動拠点を確保する事が不可欠です。市民・県民が誇れる「民間ユネスコ運動の発祥の地」に相応しい活動を今後とも続けられるよう、関係機関の協力をいただき進めていきます。

2本目—ユネスコスクールやESD（持続可能な開発のための教育）に取り組み、様々な活動に参加しやすい環境整備を整え、市民一人ひとりが活動できる「市民参加型」を展開し市民に啓発を図っていきます。

3本目—仙台ユネスコ協会は時代の流れと共に、高齢化が進む社会において、青年部と共に積極的に交流を図り、次世代を担う若者に世界平和を実現するユネスコ精神の一層の啓発に協力し支援していきます。

4本目—各ユネスコ協会、行政、学校、企業等と連携強化を図り、仙台ユネスコ協会が取り組んでいる活動を今まで以上に理解して頂き、情報交換が出来る環境作りに努めていきます。

これらのことを掲げ、公益社団法人仙台ユネスコ協会の活動が市民と行動を共に、より実践出来るように工夫し、その結果としてユネスコの目標である「心に平和の砦を」の実現を目指してまいります。

これからの行事と催事

2018年度 総会

■日時:5月30日(水)10時～
 ■場所:ユネスコ事務所

ユネスコ全国大会 in 函館

■日時:7月6日(土)～7日(日)

民間ユネスコ運動の日

■日時:7月14日(土)10時～13時30分
 ■場所:福祉プラザ1F/講演会と交流会

第4回 宮城ユネスコ子どもキャンプ

■日時:8月10日(金)～12日(日)
 ■場所:オーエンス泉岳
 自然ふれあい館



ユネスコカレッジ講座

地域遺産の貞山運河を学ぶⅡ～貞山運河と四ツ谷用水～
 ■日時:10月17日(水)13時30分～15時30分/講演会
 ■場所:仙台市戦災復興記念館
 ■日時:10月18日(水)9時～17時 現地バスツアー

お問い合わせは事務局(電話022-224-2581)

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

1～3月の活動実績

1月20日	「70周年記念誌」発送 (宮城県・仙台市・公共図書館・ユネスコ協会等)
2月4日	白石ユネスコ協会主催「新春のつどい」6名参加
2月9日	「東北ESDフォーラム2018」 (於TKPガーデンシティ勾当台) 6名参加
2月14～17日	「絵で伝えよう!わたしたちの町のたからもの」 絵画展 電力ビルグリーンプラザ
2月17日	附属小学校ESD研究会 2名参加
2月24日	気仙沼ユネスコ協会「新年会」 1名参加
3月13日	ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム総会 「パチャウリ氏講演会」(附属中学校) 3名参加
3月16日	見上宮城教育大学長・川端国際統括官来訪・懇談



第2回研修会・交流会 仙台ユネスコ協会はどんな活動をしているの…!

2017/12/8

入会したのに活動が見えないという声が寄せられました。確かに「会報」や行事の案内はしていますが、会員間の繋がりが乏しいという印象は否めません。7月の「民間ユネスコ運動の日」は会員のみならず一般の市民も参加していますが、昨年から新入会員向けの研修をスタートしました。

今年度で2回目の研修会には新旧会員50名が参加しました。千田専務から「仙台ユネスコ協会の歴史・組織活動」の説明

があり、「民間ユネスコ運動発祥の地・仙台」の意義を感じたのではないのでしょうか。続いて「2017年度活動」について、各委員長（松坂総務企画・千葉広報組織拡充・内藤活動）から映像を交えて報告を行い、「質疑応答」の流れとなりました。第2部は交流懇談に移り、新会員の紹介やスピーチをはじめ、参加者間の交流で盛り上がり、楽しいひとときを過ごすことができました。

今回は会員以外の参加者が2名あり、後日「会員申込」の手続きを頂きました。ユネスコ活動の理解に繋がる有効な企画・機会と受け留めました。

(加藤 幸子 記)

交流新年会報告

白石ユネスコ協会「新春のつどい」 2018/2/4
気仙沼ユネスコ協会「新年会」 2018/2/24

白石ユネスコ協会「新春のつどい」は、その盛沢山な企画内容に感心しました。ESD関連の講演・事例発表・絵画展入賞者の表彰・余興のコーラス…。参加者も学校関係（生徒・教員）や市民の参加も多く、バザーや飲み物サービスコーナーでは中学生たちがボランティアとして働く姿が印象的でした。注目は見上宮城教育大学長（今春退官）の講演「持続可能な地域に向けた白石ユネスコ協会への期待」で、長く白石ユ協のESD活動に関わってきた立場からの深いお話でした。

気仙沼ユネスコ協会は、夕食を囲んで地元の著名人が一堂に会する新年会で、行政・企業・民間との連携を強く確認で

きます。その中に小中学生の姿があります。気仙沼ユ協主催の絵画展入賞者で、大勢の大人の前で表彰を受けるという晴れの舞台上、「みんな嬉しそうな表情をしていた」とは参加した中村会長の言葉です。

気仙沼ユ協も白石ユ協も地域との連携が素晴らしく、見習うべき点が大きく、ユネスコ協会間の交流を更に密にしていく必要を感じます。

(加藤 幸子 記)



小学校合唱団による
アトラクション (白石ユ協)



絵画展表彰 (白石ユ協)

東北ESDフォーラム2018 東北をESDの輪でつなぐ

2018/2/9 ガーデンシティ勾当台

2018年2月9日(金)にガーデンシティ勾当台で東北地方ESD活動支援センター(ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム)主催のフォーラムが開催されました。

当協会からは中村会長他5名の方が参加しました。始めに「東北の復興を担う人材の育成とESD活動支援センターの期待」と題して環境省顧問の小林正明氏より講演を頂き、その後、ESD活動支援センター企画委員長、及川幸彦氏より「持続可

能な地域・社会の創り手を育成するESDネットワークへの期待」として講演がありました。

また、日頃からESDに取り組んでいる方々から実践報告があり地域に根差した活動をしている事に改めて感心しました。また、パネルディスカッションでは当協会の市瀬理事もパネリストとして参加し、今後のESDを推進する必要性について議論されました。そして、東北では宮城教育大学が中心となりユネスコスクール・東北コンソーシアムが設立され、今後は地域や大学との連携によるESDの推進と東北地方ESD活動支援センターとの連携と交流をしていく事が必要だと感じました。

(松坂 宏造 記)

ユネスコ子ども「絵画展」 第20回 絵で伝えよう！ わたしの町のたからもの



2月14日～17日、ユネスコ子ども「絵画展」第20回「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」が東北電力グリーンプラザアクアホールで開催されました。



小学校30校、中学校11校の参加があり、250点もの子供たちの力作が集まりました。会場にすべての作品を展示し、作者のメッセージもスライドショーにより作品と共に紹介しました。

多くの方にご来場いただきました。また、平和への祈りを込めて、「折鶴」を折るコーナーを設け、有志の方に参加していただきました。

最終日には表彰式を行いました。入賞者に会長よりひとりひとりに賞状が手渡され、柴田審査委員長より、この絵画展の意義、入賞者への心のこもった講評をいただき、無事終了いたしました。今年も展示準備・会場設営・受付等に多くの会員の協力がありました。（原 一代 記）



宮城県知事賞 小5
「瑞鳳殿の淫築門」

入賞おめでとう
ございます！



宮城県知事賞 中3
「伝統和紙、最後のひとり」



仙台市長賞 中1
「わたしの町の四ツ谷用水」



仙台ユネスコ協会会長賞 小4
「たのしいぼんおどり」



日本ユネスコ協会連盟会長賞 小4
「日本三景 すごいな！松島五大堂」



仙台ユネスコ協会会長賞 中3
「川から見上げる」



仙台市長賞 小1
「ねぶた」

ユネスコカレッジ講座

2017/10/25-26

10月25、26日の2日間、ユネスコカレッジ講座を開催しました。日本遺産『政宗が育んだ“伊達”な文化』に因み、「地域遺産の貞山運河を学ぶ」をスタート。今年度は「貞山運河と阿武隈川の舟運」をテーマとしました。一日目は戦災復興記念館を会場に、宮城大学客員教授 佐藤彰夫氏による「貞山運河の概要」と岩沼市市史編纂室 阿部俊雄氏による「政宗公から土木技術を信頼された川村孫兵衛重吉」のご講演。二日目は 岩沼市市議 佐藤一郎氏をガイドに、岩沼市の木曳堀掘いの復興のシンボル「千年希望の丘」を見学し丸森町へ、



阿武隈川船下りでの昼食（いも煮舟）後、齋理屋敷へ向かいました。幾代にわたる資産家「齋理」の蔵の宝物拝見に合わせて、丸森町元教育長 斎藤良治氏による「阿武隈川の船運の歴史」をお聞きする、という盛りだくさんな内容に、アンケートでは「楽しかった」「ためになった」「来年も続けて」との感想をいただきました。（内藤 恵子 記）

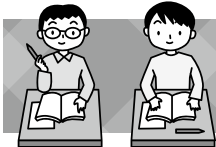
留学生交流会

2017/12/10

12月10日、青年部主催の留学生交流会を、国際センター交流コーナーで行ないました。毎年日本の文化を体験するイベントとして、お正月をテーマにプログラムを組んでいます。新聞紙タワーを協力して積み上げたアイスブレイクの後、特大筆による習字、しめ縄づくりで日本文化を体験、最後にお雑煮・お汁粉の伝統的なお正月料理を味わいました。今回は和食の現代の名工である、会員の佐藤信さんからのショートレクチャーというスペシャル企画もありました。大人会員の役割は、温かく程よい



堅さのお餅を、タイミング良く出すこと。チームプレーもバッチリ、日本人と留学生合わせ約30名の参加者と青年部から、「おいしい！」の声があがり、お互いに大満足でした。会終了後も、写真を撮ったり連絡先を交換したりなど、仲良くなった様子が見られたとても有意義な交流会となりました。（内藤 恵子 記）



青年部だより

1月から3月まで青年部主催の活動はありませんが、新年度の新体制への準備を始めています。

嬉しさと寂しさの中、先輩を送り出し新入部員を迎えるために歓迎会の計画をしています。本年度は主体となる大学生が少なくなり、新入部員をより多く迎えたいと思い、4月に歓迎会を3回実

施しました。内容はお花見やキャンプのミニゲーム体験、ミーティングの見学など様々した。

また、夏の子どもキャンプに向けても計画に基づき着実に進行しています。テーマやキャラクターが決まり、段々と方向性が見えてきました。月2回のミーティングでは、昨年までの反省や新しいことへの挑戦など、深い話し合いが行われています。これからキャンプについては、プログラムの検討や参加者の募集が始まり、慌ただしくなってくるかと思えます。第4回の子どもキャンプもよいものにしていくために、一人一人が役割に責任を持ち、お互いに意識を高めていきたいと思えます。
(池田 百恵 記)

2018年 講座紹介

講座名	書道 (四枝社)	中国語	いけばな (草月流)	書道 (佐々木鈴優社)	日本産漆による 金継ぎ教室
講師(代表)	長井四枝	屈明昌	高橋和香・齋藤翠園	佐々木鈴優	蜂谷哲平
日時	第2・4水曜日 (月2回)	土曜日 (月3回)	土曜日 (月1回)	第1・3月曜日 (月2回)	第1・3日曜日 (月2回)
	午前10～12時	午後1～5時	午後1～3時半	午前10～12時	午前9～11時
会費	月 4,000円	月 4,500円	月 2,000円	月 4,000円	月 5,000円
特色	河北書道展・毎日書道展などに入選・入賞者を多数輩出、四枝先生の下で黙々と練習に励む姿は50年間変わらない風景です。	初級・文章読解・会話と授業を展開。屈先生の豊かな教養と生徒のレベルに対応した指導力が光ります。1回4時間で1500円も魅力です。	「自然の花の中からいけばなという別の花が咲く」という教えを大切に、四季折々の花を教材に基本から自由花まで学んでいます。	漢字(大筆)、実用書(小筆・筆ペン)、ペン字、調和体、仮名の中から自分で学びたいものを選び、マイペースに学ぶことが出来ます。(募集中)	金継ぎは瀬戸物やガラスの伝統的修理技術。当教室では化学接着剤は使わず、全国でも珍しくなった日本産漆を使用し、壊れた器を蘇らせてます。(募集中)

新しい講座が加わります!

佐々木鈴優社

鈴優先生は、「『書く』を通して、字の上達と共に心を磨く」をモットーに、仙台市内8か所で書道教室を主宰しています。3月の河北ウイークリー(右図)でも紹介されました。「コツを掴んで積み重ねていけば必ず憧れの文字が書けるようになる」と鈴優先生は語ります。書くことに抵抗を感じたり、苦手意識を持っている“アナタ”も、時間を作って始めてみませんか! 現在受講生を募集しています。お問合せは仙台ユネスコ協会(☎022-224-2581)まで。



河北Weekly
522号より

“11枚の書きそんじハガキでひとりごと月学校に” ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。



書きそんじた郵便ハガキをご寄付ください。送れなかった62円ハガキは1枚につき57円の募金に替えることができ、11枚あつまれば、カンボジアではひとりごと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	110
個人会員	196
青年部会員	20
合計	326

(2018.3.31現在)

【編集委員】

千葉 雅保	小泉知加子
神坂 旭	岩山 浩一
佐浦 公美	佐藤 皇季
戸室 輝信	長本 昭義
松良 基広	

【編集後記】

仙台ユネスコ会報457号をお届けします。半年ぶりの会報になりましたので、活動の内容も昨年10月からになります。盛りだくさんになりました。また、今年から新しい講座が加わりました。仙台ユネスコの会のもう一つの魅力ですね。受講生を募集しています。ご興味のある方はお問い合わせください。よりよい会報にするため、編集にご意見・ご感想などぜひお寄せください。今後ともどうぞよろしくお願いたします。
(仙台ユネスコ会報編集長 小泉知加子)